

2025年度 医療安全管理者養成研修 プログラム ~ e-ラーニング+集合演習~

講義：本紙赤枠表示内の指定時間を超える視聴、テストは選択式：80%以上の得点、記述式：提出が修了条件です。
 e-ラーニングシステムの目次画面で、該当項目名の右側に受講済みマークがついたらチェックを入れましょう！
 <講義を視聴してから受講済みマークが表示されるまで、数分かかる場合があります>



テーマ・内容	講義時間 (分)	講師 (敬称略)	受講済チェック欄		
			講義	テスト (選択式)	テスト (記述式)
【e-ラーニング】		冒頭挨拶：杉山 良子 (一般社団法人 医療安全全国協同行動 改善アドバイザー、パラマウントベッド株式会社 顧問、転倒転落研究会 (RoomT2) 代表/看護師)			
1 医療安全の基本的考え方と今後の展望	94	長尾 能雅 (名古屋大学医学部附属病院 副院長/患者安全推進部 教授)			
2 日本における医療安全施策の動向	62	栗原 健 (厚生労働省 医政局 地域医療計画課 医療安全推進・医務指導室 医療安全対策専門官/医系技官)			
3 医療安全管理者としての役割と心構えと組織マネジメント	72	杉山 良子 (一般社団法人 医療安全全国協同行動 改善アドバイザー、パラマウントベッド株式会社 顧問、転倒転落研究会 (RoomT2) 代表/看護師)			
4 医療業務の組織的な標準化と改善	90	棟近 雅彦 (早稲田大学 教授)			
5 医療安全とヒューマンファクターズ〜ヒューマンエラーの防止活動〜	58	小松原 明哲 (早稲田大学 理工学術院 教授)			
6 事故発生メカニズムと事例分析	231	河野 龍太郎 (自治医科大学 名誉教授、株式会社 安全推進研究所 代表取締役所長/博士 (心理学))			
7 医療安全に関するデータの収集と活かし方	61	松村 由美 (京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 部長/教授)			
8 医療安全教育の企画と方法	126	杉山 良子 (一般社団法人 医療安全全国協同行動 改善アドバイザー、パラマウントベッド株式会社 顧問、転倒転落研究会 (RoomT2) 代表/看護師)		テストおよび課題	
9 医薬品の安全管理					
9-a 医薬品安全管理責任者の位置づけと業務	13	堀 雄史 (浜松医科大学医学部附属病院 薬剤部 副薬剤部長/薬剤師)			
9-b 有事の対応/平時の活動/薬剤関連の患者誤認	92	梅村 朋 (名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部 病院講師/薬剤師)			
9-c タスク・シフティングにおける薬剤業務	13	堀 雄史 (浜松医科大学医学部附属病院 薬剤部 副薬剤部長/薬剤師)			
10 医療機器の安全管理 ~生命維持管理装置を中心に~	97	青木 郁香 (公益社団法人 日本臨床工学技士会 専務理事)			
11 臨床現場におけるエラーや事故とその対応					
11-a 診断エラー	33	高橋 英夫 (東京医科歯科大学大学院 歯学総合研究科 歯学系専攻 全人的医療開発学講座 生体集中管理学 特任教授)			
11-b 臨床検査部門のエラーと対策	33	根本 誠一 (株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院 TQM統括室 安全管理センター)			
11-c 放射線部門でのリスク	28	阿部 真治 (名古屋大学医学部附属病院 医療技術部 放射線部門 診療放射線技師長)			
11-d 経鼻栄養チューブの安全な挿入と管理	37	須田 喜代美 (一般財団法人 竹田健康財団 竹田総合病院 医療の質管理部 医療安全管理室 課長)			
11-e 転倒・転落	70	黒川 美知代 (武蔵野赤十字病院 看護師長)			
11-f 連携・コミュニケーションエラー/検査結果の情報伝達についてのエラー	39	原田 賢治 (国立大学法人 東京農工大学 保健管理センター 教授)		テストおよび課題	
11-g 臨床現場のインシデントの防止に向けて	43	黒川 美知代 (武蔵野赤十字病院 看護師長)			
12 患者・家族とのパートナーシップによる医療安全					
12-a 患者参加の意義・方法/患者・家族とのコミュニケーションのポイント	63	山内 桂子 (東京海上日動メディカルサービス株式会社 メディカルリスクマネジメント室 特別講師)			
12-b 患者・家族の視点/患者サポート体制の整備と医療対話推進者との連携	47	豊田 郁子 (患者・家族と医療をつなぐNPO法人架け橋 理事長)			
13 地域における医療安全					
13-a 地域連携の意義・方法/地域連携の実践	38	菅野 隆彦 (JA長野厚生連 下伊那厚生病院 内科 部長/医療安全管理室 室長 南信州医療安全ネットワーク 代表)			
13-b 在宅での医療事故/介護施設での医療事故/地域での医療安全体制の構築	71	佐々木 淳 (医療法人社団 悠翔会 理事長/診療部長)			
13-c 訪問看護にまつわる医療事故/地域連携による事故防止	41	高砂 裕子 (一般社団法人 南区医師会訪問看護ステーション 管理者、一般社団法人 全国訪問看護事業協会 副会長)			
14 医療安全における法的問題と重大インシデントへの対応					
14-a 医師法・保健師助産師看護師法/医療と裁判/患者の権利	95	長谷部 圭司 (蒼法律事務所、社会医療法人蒼生会 蒼生病院 医師/弁護士)			
14-b 重大インシデント発生時の対応/患者・家族への対応/職員への精神的支援	93	松村 由美 (京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 部長/教授)			
15 医療事故調査制度	81	長尾 能雅 (名古屋大学医学部附属病院 副院長/患者安全推進部 教授)			
16 医療事故情報収集等事業について	62	坂口 美佐 (公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部)			
17 患者安全とガバナンス	58	上田 裕一 (独立行政法人 奈良県立病院機構 理事長)			
18 安全文化の醸成					
18-a 安全文化の醸成に向けたチーム・コミュニケーション	81	種田 憲一郎 (国立保健医療科学院 上席主任研究官)			
18-b 安全文化の醸成に向けて	65	鮎澤 純子 (九州大学大学院医学研究院 医療経営・管理学講座 准教授)			
【集合研修】					
1 [6. 事故発生メカニズムと事例分析] の演習	240	河野 龍太郎 (自治医科大学 名誉教授、株式会社 安全推進研究所 代表取締役所長/博士 (心理学))		演習	
2 [8. 医療安全教育の企画と方法] の演習 [11-f. 連携・コミュニケーションエラー] の演習	240	杉山 良子 (一般社団法人 医療安全全国協同行動 改善アドバイザー、パラマウントベッド株式会社 顧問、転倒転落研究会 (RoomT2) 代表/看護師)		演習	
総時間数	2567	e-ラーニング34時間47分+集合研修8時間 = 研修時間合計42時間47分 (テスト時間は含まず)			

※ 教材内の講師情報は収録時のものです